

岐阜県公報

目次 条 例

岐阜県がん対策推進条例

(議事調査課)

ページ
一

号外 (2) 平成二十二年 七月 一日

本号で公布された条例のあらまし

岐阜県がん対策推進条例 (条例第四一号)

- 一 この条例は、がんが県民の疾病による死亡の最大の原因となっている等県民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がん対策に関し県の責務等を明らかにし、並びに予防、早期発見、医療、緩和その他がん対策に関する基本的な事項及び本県の特性に応じた事項を定めることにより、がん対策を総合的かつ計画的に推進することを目的とすることとした。(第一条関係)
- 二 県の責務、県民の役割、医師等の役割等を定めることとした。(第二条から第一条関係)
- 三 この条例は、平成二十二年九月一日から施行することとした。

条 例

岐阜県がん対策推進条例をここに公布する。

平成二十二年七月一日

岐阜県知事 古 田 肇

岐阜県条例第四十一号

岐阜県がん対策推進条例

岐阜県公報 号外 毎週

(火曜日
金曜日)

発行 (休日
に当たら
るときは翌日)

平成二十二年七月一日

(目的)

第一条 この条例は、がんが県民の疾病による死亡の最大の原因となっている等県民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がん対策に関し県の責務等を明らかにし、並びに予防、早期発見、医療、緩和その他がん対策に関する基本的な事項及び本県の特性に応じた事項を定めることにより、がん対策を総合的かつ計画的に推進することを目的とする。

(県の責務)

第二条 県は、国、市町村、医療機関、医療関係団体、がん患者及びその家族等で構成される民間団体その他関係団体と連携を図りつつ、本県の特性を踏まえたがん対策に関する施策を策定し、実施するものとする。

(県民の役割)

第三条 県民は、食生活、喫煙、運動その他の生活習慣が健康に及ぼす影響等がんの罹患に関する正しい知識を学び、及び健康増進を図り、もってがんの予防に細心の注意を払うとともに、積極的にがん検診を受けるよう努めるものとする。

(医師等の役割)

第四条 医師、保健師、看護師その他がんの予防及び早期発見の推進並びにがんに係る医療（以下「がん医療」という。）に従事する者（以下「保健医療関係者」という。）は、県が講ずるがん対策に関する施策に協力するよう努めるものとする。

(がんの予防及び早期発見の推進)

第五条 県は、がんの予防及び早期発見を推進するため、市町村、医療機関その他関係機関と連携し、及び協力して、次に掲げる施策を講ずるものとする。

一 がん検診受診率の向上のための施策
二 食生活、喫煙、運動その他の生活習慣が健康に及ぼす影響等がんの罹患に関する知識の普及及び啓発

三 がん検診に携わる保健医療関係者の資質の向上を図るための施策

四 受動喫煙の防止のための県庁舎、学校、病院、公園、歩道その他多数の者が利用する施設における分煙又は禁煙の推進

五 前各号に掲げるもののほか、県内におけるがんの予防及び早期発見のために必要な施策

(女性特有のがん予防対策の推進)

第六条 県は、女性に特有のがんに関し、がんにかかりやすい年齢を考慮したがんに関

する知識の普及、がん検診受診率の向上その他がんの予防対策の推進のために必要な施策を講ずるものとする。

(がん患者等への支援)

第七条 県は、セカンドオピニオン（診断又は治療に関して担当医以外の医師の意見を聞くことをいう。）を含めた相談体制の充実その他がん患者及びその家族の支援のために必要な施策を講ずるものとする。

(がん医療の充実)

第八条 県は、保健医療関係者と連携し、がん患者がその居住する地域にかかわらず等しく科学的知見に基づく適切ながん医療を受けることができるとともに、がん患者の意向に十分に配慮した質の高いがん医療が提供できるよう、がん医療の充実のために必要な施策を講ずるものとする。

(在宅医療の充実)

第九条 県は、保健医療関係者と連携し、がん患者の意向により、住み慣れた家庭又は地域での療養が選択できるよう、在宅におけるがん医療の充実のために必要な施策を講ずるものとする。

(緩和を目的とする医療の推進)

第十条 県は、保健医療関係者と連携し、がん患者及びその家族が終末期を含め質の高い療養生活が送れるよう、がん患者ががんによって生じる身体的な苦痛並びにがん患者及びその家族ががんによって生じる精神的及び社会的な不安の緩和を目的とする医療を推進するために必要な施策を講ずるものとする。

(医療従事者の育成及び確保等)

第十一条 県は、手術、放射線療法、化学療法その他がん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他医療従事者の育成及び確保並びに健全な労働環境の整備に関する支援のために必要な施策を講ずるものとする。

(がん医療に関する情報の収集及び提供)

第十二条 県は、県民ががん医療に関する適切な情報を得られるよう、がん診療連携拠点病院をはじめとする医療機関の診療情報その他がん医療に関する情報の収集及び提供のために必要な施策を講ずるものとする。

(がん登録の推進)

第十三条 県は、効果的ながん対策の立案及びがん医療の向上に必要な情報を得るため、がん患者のがんの罹患、転帰（治療の経過及び結果のことをいう。）その他の状

況を把握し、分析するための取組であるがん登録を推進するために必要な施策を講ずるものとする。

(研究の推進等)

第十四条 県は、がんの予防及び早期発見、がん医療の技術の向上、がん患者及びその家族の身体的及び精神的な苦痛の軽減並びにがん患者の療養生活の質の向上のための研究が推進され、並びにその成果が活用されるよう、必要な施策を講ずるものとする。

(県民運動の推進)

第十五条 県は、保健医療関係者、企業、がん患者及びその家族等で構成される民間団体その他の関係団体と連携し、がん対策に対する県民の理解及び関心を深めるための活動を展開するものとする。

(財政上の措置)

第十六条 県は、がん対策に関する施策を推進するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この条例は、平成二十二年九月一日から施行する。

平成二十二年七月一日発行

発行者

岐阜県庁
岐阜市数田南一丁目一番一号

編集

各務原市テクノプラザ一

ブイ・アール・テクノセンター